



ドクター・ワッシー

診察室

ざくばらん

腫瘍なくても 原因いろいろ

朝方の頭痛

原因が分からないままにしておけば、同じことを繰り返す。でも、コワイ病気でないと知っただけでも、もう頭痛の原因など、どうでもよくなるらしい。

46歳のT子さん。1週間前から、目覚めるとなんとなく頭が痛い。毎朝だ。時には、吐き気を伴うともいう。が、頭痛は、長くは続かない。でも、それまで、頭痛など経験したことがなかったのだ。ネットで調べたら、朝方の頭痛は要注意だということではないか。

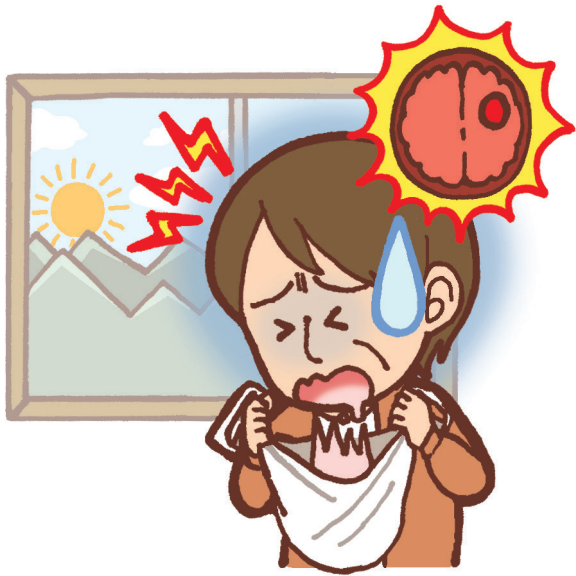
確かに、ワッシーらは、「朝に、前頭部が痛むようになった」と聞けば、まずは脳腫瘍を疑う。脳腫瘍ができる、朝方に頭蓋内の圧(脳圧)が高くなることもある。ひょっとして

が起きる。やがて、胃の中のものをゲボツと吐く。吐いたら、頭痛も吐き気も治まって、ケロツとしてしまう。それが特徴である。

だが、そんな教科書に書いてあるような典型的な患者さんには、滅多にお目にかかれない。MRI(磁気共鳴画像装置)の検査をしたが、T子さんの頭の中には、脳腫瘍も血管障害もない。「きれいなものだ。問題ない」と説明したら、もうT子さんは、ワッシーなんか用なしといわんばかりになった。

でも、待ってください。朝方に起きる頭痛の原因は、いくつも考えられる。慢性頭痛ではないのだから、片頭痛ではない。スマートなひょっとしてのひょい眠気もないというから睡眠時無呼吸でもなからう。お酒は飲まない。心配事はあるが、うつ病に伴う頭痛ではない。最近、眠りが浅い。さては、枕を変えたせいかという。ひょっとして、その関係はありかもしれない。

なら、もっと経過をみてみたい。が、T子さんは、その後、顔を見せない。そんな患者さんばかり続くと、医者もストレスが溜まってくる。もしかししたら、それがワッシーの頭痛のタネかも。



イラスト・野畑桃花

(石黒修三) いしぐろクリニク
・脳神経外科専門医、金沢市在住、
射水市出身)